

## 歴史科学の目的としての理解と物語的説明

苗村 弘太郎 (Namura Kotaro)

京都大学文学研究科

---

近年、歴史科学に特有の説明様式として、物語的説明 (narrative explanation) が議論の俎上に上っている (Currie and Sterelny 2017 ; Roth 2017) <sup>1</sup>。彼らによると、人間社会の過去を研究対象とする歴史学、および、自然界の過去を対象とする生物学、地質学などにおいて、説明に用いられるのは必ずしも理論やモデルだけとは限らない。事象の複雑な展開を説明し、理解するためには、その成り行きを物語として語ることが有効である。彼らによれば、そのような物語による説明の特徴は、これまでの科学的説明のモデルでは十分に捉えることができない。

だが、物語的説明なる独立した説明のカテゴリーを認めることには異論もある (Klauk 2016; Kuukkanen 2018)。彼らによれば、物語的説明の特徴とされるものは、なぜ説明に貢献するのか曖昧であるか、既存の科学的説明のモデルに回収できてしまう。物語的説明 (とされるもの) を説明たらしめているのが物語の特徴ではないとすれば、物語的説明なる概念は必要ないか、少なくとも分析が不十分なのであるというのが彼らの主張である。

本発表の目的は、このような批判に耐えうるように、物語的説明のモデルを再構成して提示することである。そのため、科学実践における説明と理解 (understanding) の関係に関する近年の議論を手がかりとして参照する。

科学的説明における理解の重要性を強調する de Regt が指摘するように、論理実証主義に属する Hempel も、理解は科学の重要な目的であると認識していた。それにも関わらず、Hempel が理解を分析対象から外した理由は、彼が理解を語用論的な概念として理解していたからである。すなわち、彼にとって、説明は文と文の間に論証関係が成立するのかわる客観的な関係であるのに対し、理解は、現象および説明と、説明を用いて現象を理解する人間との関係に関する主観的な概念であった (de Regt 2009; de Regt 2017)。

だが、de Regt の議論によると、理解を抜きにして説明を正当化することはできない。この de Regt の洞察は物語的説明を理解する上で非常に示唆的である。なぜなら、物語的説明のモデルは、Hempel のモデルから語用論的な側面が抜け落ちていることに対する批判として提案されたという歴史的経緯があるからだ (Danto 1965)。物語的説明の特徴を科学実践における理解の特徴として捉えることで、物語的説明の特徴がどのように説明に貢献

---

<sup>1</sup> 物語的説明に関する議論としては、他に、Beatty 2016, Currie 2014, Roth 2018 などがある。

するのかを明瞭にすることができると思われる。

だが、理解に関する de Regt の分析をそのまま転用することができるわけではない。なぜなら。彼の分析は時空を通じて広く見られる現象を理解しようとする物理学、および物理学における理論の理解に向けられており、歴史科学が目指していると思われる対象の時間的変化の理解とは性格が異なるからである。そこで本発表が取る分析の方針は、おおまかには次のようになる。まず、歴史科学の中でも歴史学における説明の事例を取り上げ、Hempel のモデルでは事例のどのような側面を捉えることができないのかを検討する。次いで、Hempel のモデルでは救えなかった側面を、物語的説明に関する Danto (1965) および Roth (2017) の分析を参照しながら、歴史学者の理解として取り出す。最後に、そのような理解が事例における説明実践にどのように貢献しているかを分析することによって、歴史的理解を通じた説明として物語的説明を定式化することを目指す。

#### 参考文献

- Beatty, John. 2016. What are narratives good for?. . *History and Philosophy of Biological and Biomedical Sciences* 58: 33–40.
- Currie, Adrian and Sterelny, Kim. 2017. In defense of story-telling. *Studies in History and Philosophy of Science Part A* 62: 14–21.
- Currie, Adrian Mitchell. 2014. Narratives, mechanisms and progress in historical science. *Synthese* 191: 1163–1183.
- Danto, Arthur C. 1965. *Analytical philosophy of history*. Cambridge: Cambridge University Press.
- de Regt, Henk. 2009. Understanding and scientific explanation. In *Scientific understanding: Philosophical perspectives*, pp. 21–42. University of Pittsburgh Press.
- de Regt, Henk W. 2017. *Understanding Scientific Understanding*. New York: Oxford University Press.
- Hempel C. G. [1942] 1965a. The function of general laws in history. in *Aspects of scientific explanation; And Other Essays in the Philosophy of Science*. pp.231-243. Free Press.
- Hempel and Oppenheim[1948] 1965b. Studies in the Logic of Explanation. in *Aspects of scientific explanation; And Other Essays in the Philosophy of Science*. pp.245-290. Free Press.
- Hempel, C. G. (1965). *Aspects of scientific explanation; And Other Essays in the Philosophy of Science*. Free Press.
- Klauk, Tobias. 2016. Is There Such a Thing as Narrative Explanation?. *Journal of*

*Literary Theory* 10: 110–138.

Kuukkanen, Jouni-Matti. 2018. The Future of Philosophy of Historiography: Reviving or Reinventing? In *Towards a Revival of Analytical Philosophy of History*, pp. 73–94. Brill Rodopi.

Roth, Paul A. 2017. Essentially Narrative Explanations. *Studies in History and Philosophy of Science Part A* 62: 42–50.

Roth, Paul A. 2018. Reviving Philosophy of History. In *Towards a Revival of Analytical Philosophy of History*, pp. 9–27. Brill Rodopi.